

市民の言・ちまたのニュース

第28号

2020年5月24日
日本共産党根室市委員会
根室市宝林町4-203
TEL 23-6023
FAX 24-1684

世論の方が検察庁改正案今国会見送りに

いま日本は、万全な新型コロナウイルス感染対策を推進しなければならない時期の真最中です。北海道も「緊急事態宣言」を解除できない状況にもかかわらず、安倍政権は検察庁法「改正」案を衆議院で強行突破しようとしています。ところが、この暴挙に、多くの有名人・著名人の「#検察庁法改正案に抗議しよう」ツイッターが500万超にも一気に広がり、内閣支持率も急落。安倍政権をこの法案の今国会成立を見送らざるを得ない状況に追い込みました。これは、小泉今日子さんを始め、多くの芸能人等がツイッターで「改正案」に反対し、日本の民主主義の未来を真剣に憂いた行動の「勝利」です。法案の撤廃を求める運動は、今後ますます重要となります。改めてこの法案の持つ問題点を考えてみたいと思います。

「陳は国家なり」を彷彿

この15日、元検事総長松尾邦弘氏ら元検察官14名は、政府の判断で検察官の定年延長を可能にする「検察庁改正案」に反対し、「検察を弱体化し、時の権力の意のままに動く組織にしよう」としており看過できない」と、検察庁法改正案「反対の意見書を法務大臣へ提出しました。元検察トップが政府提出法案に公然と批判するのは、極めて異例のことと各紙が報道する異常さです。

提出後の記者会見で松尾氏は「特定の検察官の定年延長ありき、今までにないことで大変危惧

している」と話しました。意見書は、安倍首相の一連の言動について、フランスの絶対王政・ルイ14世（17世紀後半から18世紀初頭）の『陳は国家である』との中世の亡霊のような言葉を彷彿（ほうふつ）とさせるような姿勢であり、近代国家の三権分立主義の否定につながりかねない」と指摘、「17世紀の高名な政治思想家ジョン・ロックは『法が終わるところ、暴政が始まる』と警告している。心すべき言葉である」と述べています。

意見書の中で、「ロッキー

事件」の捜査に当たって検察当局内での「苦悩」の様子が語られており、当時の神谷検事長が「国民を信頼して捜査に踏み切る」との心境と不転の決意。まさに検察の「独立性」を強く印象づけられるものです。

この事件の特捜部検事であった堀田勉氏は「検察の信頼に傷がつく、総長も黒川検事長も辞職せよ」と述べており、「この定年延長は与党の政治家の不正を追及させない以外考えられない」とその不当性を訴えました。

芸能人も次々反対表明

芸能界などで活躍する有名人・著名人もこの「改正案」に相次いで反対を表明しました。

小泉今日子さんは、いち早くツイッターで反対。15日検察OBの「反対意見書」の提出を知って、ツイッターに新たな投稿。「泣きまじた。そして背筋が伸びました。こういう大人にわたしはなりたくない」との自身の思いを書き込んでいます。（写真小泉今日子さん）



また、フリーアナウンサーの徳光和夫氏も16日の二ッポン放送で、「コロナ禍の危機のさなか、日本の民主主義において見過ごすことが出来ない。これが何で今なのか。これこそ不要不急、いろんな芸能人の皆さんが反対している」と批判が続出していることを指摘しました。俳優の井浦新氏、演出家宮本亜門氏、歌手のきょうりー、みゆびみゆさん、西郷輝彦氏等々が続々と反対表明した結果です。

新型コロナ対策これからが本番！

京大のノーベル賞受賞者山中伸弥教授は「コロナ対策の提言を発信「これからが本番」と国民への警告を呼び掛けています。一般の市民にわかりやすい内容なので、概略を紹介します。



山中教授は、感染症問題の専門家ではありません。しかし、教授は、先進的な世界の論文に基づき、私たち市民にも分かりやすいコロナ問題の情報を発信しているので、その中の5つの提言をお知らせします。

医療、介護の体制整備
ワクチンと医療薬の開発
と大量生産を。

提言1
緊急事態宣言の効果で感染者が減少している。しかし、油断大敵。ウイルスは、私たちを試している。緩んだところから、一気に勢いを取り戻す。今こそ、次の波に備えた準備を。

提言3
感染者を同定隔離
PCR検査、抗原検査を充実し、感染者を早期発見。軽症者、無症状の人を安心して隔離する体制を。

提言2
日常生活を見直す
新型コロナ対策を止める
と感染者は、急増する。人と人の接触を6割減すると1人の感染者が1人の人しか感染させない。6割を長期間経済的に持続できない。5、4割に減らすためには、国、自治体の支援が必要。そのためにも次の対策を

提言4
医療介護従事者を守ろう
医療介護現場の検査体制を強化、クラスター発生を予防。その従事者への防御具、手当の充実。医療、介護従事者への偏見、差別の撤廃。

提言5
ワクチンと治療薬の開発、大量製造を
ワクチンは、感染予防、感染を効率よく減らす。医療薬は、感染者の重症化減に、医療や介護への負担を減らす。そのため、研究者、企業は、競争より協調を
国の審査承認は迅速に。

提言5
ワクチンと治療薬の開発、大量製造を
ワクチンは、感染予防、感染を効率よく減らす。医療薬は、感染者の重症化減に、医療や介護への負担を減らす。そのため、研究者、企業は、競争より協調を
国の審査承認は迅速に。